

クロスリンク「らくりら」開設

初の「癒やし施設」紹介ポータル

キラリ!
わが社の商品・サービス

オフィス街への通勤圏の街に限らず地方都市などでも、商店街に「整体」や「カイロプラクティック」あるいは「エステ」「リフレ」などの看板が点在することが当たり前のような風景になった。デパートやターミナル駅、空港、大型複合施設などでは今や、リフレクソロジーやハンドマッサージの店舗は定番テナント。シティーホテルや温泉地の高級旅館、リゾートホテルのなかには「エステ」をウリにする施設も多い。

「癒やし」が求められている時代のニーズが生んだケア施設

ラッシュといえるが、利用者が悩むのは、どこに行けば望む癒やしを得られるかということ。

クロスリンクが今年8月にスタートさせたウェブサイト「らくりら」(<http://rakurira.jp/>)は、求める癒やしが見つけれ、自分の都合に合わせて予約ができる「スパ、リラクゼーションサロン、治療院専門のポータルサイト」。同社の矢野敦子社長は、自らが肩凝りなどで整体院に通った経験などから、リラクゼーション施設のポータルを考えたという。

「50分の施術でいたい5000円くらいというのが多いと思いますが、終わった後に果たして5000円の価値があったんだろうかと考えたこともありましたし、女性の場合は個室利用の際

に施設によっては不安を感じることもあります。よさそうだからと行ってみるとマンションの一室などだったり…。施設を選ぶのは口コミが主な手段で、なにか情報サイトがあればいいなと思いました」

といっても、いきなりポータル構築を始めたわけではなく、まず、昨年2月にリラクゼーション施設や治療院など「リラックス業界」で働く人たち向けの情報コミュニティサイト「ひとさぼ」(<http://www.hitosapo.com>)を開設して、施設経営者や施術者ら従業員への情報発信からスタート。さらに同6月に、業界に特化した求人情報サイト「キャリさぼ」(<http://caresapo.com>)を立ち上げ、今年2月にはリラクゼ

スパ、リラクゼーションサロン、治療院
専門のポータルサイト「らくりら」



ーション施設や治療院にアプリケーションソフトをネットを通じて利用できるASP型の予約管理システム「ワンモアハンド」の提供を始め、業界内での浸透を進めてきた。

このワンモアハンドのシステムや情報を応用する格好で立ち上げたのが「らくりら」。地域別、目的別などさまざまな条件別に施設を選べるようになっていくが、まだ緒に就いたばかり

「部分開業」の状態だ。矢野社長によれば、ワンモアハンドの利用施設増を進め、来年8月までには「らくりら」で500店をリストしたいという。

リラクゼーション施設や治療院は全国で計18万軒を超えるという。クロスリンクでは独自調査の結果、市場規模を1兆2000億円と見積もっており、業界支援の事業も伸びしろが相当にあるとみている。(松本良一)